

2022年3月期 第1四半期

# 『中期経営計画2023』の進展

2021年8月6日

当期は、前年同期比で減収増益となりました。建設事業の受注高は、国内土木のリニューアル工事、国内建築の物流施設等の受注により、前年同期比97.1%の増加となりました。売上高は、国内土木・国内建築とも繰越工事については、順調な工事進捗により計画通り推移しています。売上総利益は、国内土木・国内建築の大型工事の設計変更等により利益率が向上し、増加しました。

当期の受注は好調でしたが、受注環境は国内外ともに厳しい状況が続いています。短期的には、地域戦略の見直し等の対応が急務である一方、中長期的には、単純請負を脱した高付加価値のモノ・サービスの提供が必須と考えています。これらの「新しい価値」を提供するために、「中期経営計画2023」では事業間の「有機的連携」を進めています。当期では、市街地再開発事業や土地区画整理事業等について、社内の連携体制・フローの見直しをおこない、受注部門の意識と行動変革の一步が踏み出せたと感じています。また、「有機的に連携し、新しい価値をつくる組織と人材」づくりに向けて、人材戦略にも一層力を入れ、人材データの活用や人材像の創造をおこなっています。

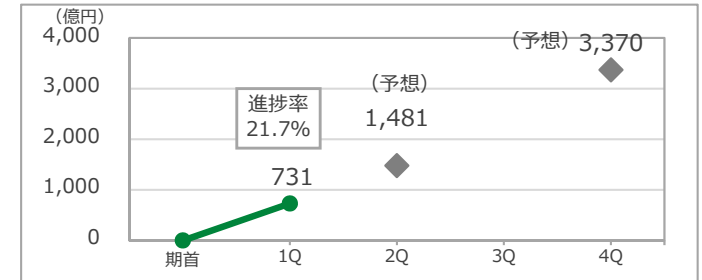
代表取締役社長 高瀬 伸利

連結業績

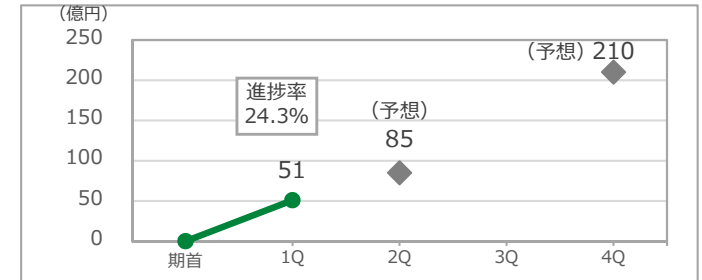
(単位：億円)

項目	2020年度		2021年度			
	1Q	通期	金額	1Q 増減 金額	増減 率 (%) (ポイント (pt))	通期 予想
建設事業受注高	252	3,134	497	245	97.1%	3,615
売上高	762	3,362	731	▲30	▲4.0%	3,370
売上総利益 (率)	70 (9.3%)	397 (11.8%)	96 (13.2%)	26	36.9% (3.9pt)	416 (12.3%)
営業利益 (率)	27 (3.6%)	209 (6.2%)	51 (7.0%)	24	88.7% (3.4pt)	210 (6.2%)
経常利益 (率)	30 (4.1%)	215 (6.4%)	55 (7.6%)	24	80.4% (3.5pt)	212 (6.3%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (率)	16 (2.2%)	171 (5.1%)	38 (5.3%)	22	132.6% (3.1pt)	143 (4.2%)

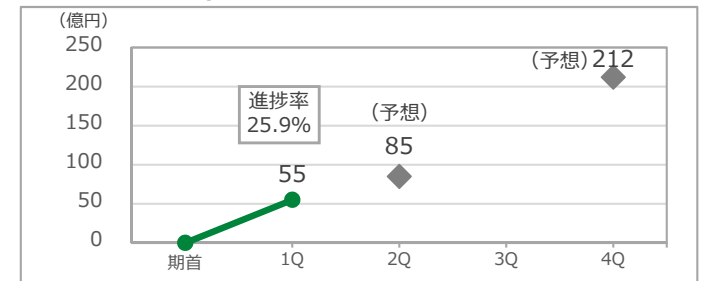
売上高（連結）



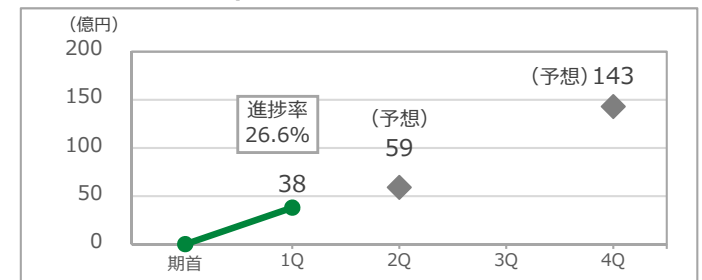
営業利益（連結）



経常利益（連結）



当期純利益（連結）



## セグメント別業績（個別）

(単位：億円)

セグメント			項目	2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減 金額	増減 率 (%) (ポイント (pt))	業績説明
建設事業	土木	国内	受注高	117	173	55	47.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的取組み分野であるNEXCOリニューアル工事で3件受注。</li> <li>順調な工事進捗により、繰越工事の売上高は計画通り。</li> <li>大型工事の設計変更等により、売上総利益は前年同期比増。</li> <li>停止していた大型シールドトンネルの掘進を7月より再開。</li> <li>土地区画整理事業2件（宮城・仙台、愛知・東海）を施工中。</li> </ul>
			売上高	255	244	▲10	▲4.0%	
			売上総利益 (率)	25 (10.0%)	43 (17.8%)	18	70.8% (7.8pt)	
		海外	受注高	2	▲0	▲3	▲113.2%	
			売上高	11	31	19	167.4%	
			売上総利益 (率)	0 (3.0%)	0 (2.8%)	0	153.5% (▲0.2pt)	
	建築	国内	受注高	135	300	165	122.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的取組み分野である物流施設の受注は順調。</li> <li>順調な工事進捗により、繰越工事の売上高は計画通り。</li> <li>大型工事の設計変更等により、売上総利益は前年同期比増。</li> <li>市街地再開発事業3件（東京・中野、山形・酒田、香川・高松）を施工中。</li> </ul>
			売上高	430	394	▲36	▲8.4%	
			売上総利益 (率)	30 (7.1%)	36 (9.2%)	5	18.5% (2.1pt)	
		海外	受注高	▲0	▲0	0	※	
			売上高	4	9	4	116.8%	
			売上総利益 (率)	0 (1.5%)	0 (2.4%)	0	24.7% (0.9pt)	
開発・不動産 事業等		売上高	28	40	12	42.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;開発・不動産事業&gt;</li> <li>販売事業により、売上高・売上総利益は前年同期比増。</li> <li>賃貸事業の売上高・売上総利益は、前年同期並み。</li> <li>&lt;環境・エネルギー事業&gt;</li> <li>屋根置き太陽光発電（PPA）事業で、1件契約締結。</li> </ul>	
		売上総利益 (率)	11 (39.5%)	14 (35.9%)	3	29.4% (▲3.6pt)		

セグメント		中期経営計画2023 重点施策 ●戦略的取組み分野 ■成長投資・施策	取組み状況
建設事業	土木	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トンネルを中心とする大規模・高難度工事</li> <li>■ トンネル工事の省人化・自動化技術の開発</li> <li>● リニューアル分野（橋梁、トンネル）</li> <li>■ リニューアル分野でのアライアンスおよび技術開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ トンネル切羽近傍の計測作業の無人化 『Tunnel RemOS-Meas.（トンネルリモスメジャー）』を開発。</li> <li>■ 高速道路床版取替工事で、橋梁会社との協働を開始。</li> <li>■ トンネル覆工再生の技術開発業務（北陸自動車道）を受注し、実証実験を開始。</li> </ul>
	建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流施設（常温倉庫、免震倉庫）</li> <li>■ フロントローディング、部材標準化へのBIM活用</li> <li>■ 環境設計技術の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物流施設の部材標準化を開始。</li> <li>■ 設計施工一貫BIMによるフロントローディング実現に向け、しくみを構築中。</li> <li>■ ZEB技術の確立に向け、愛川技術研究所に実証施設を準備中。</li> </ul>
開発・不動産事業等	開発・不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成長分野に重点を置いたアセット戦略</li> <li>■ 「循環型再投資モデル」への進化</li> <li>● 市街地再開発事業、土地区画整理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重点アセットであるデータセンター等を取得。</li> <li>■ 年度内のアセットマネジメント会社立上げに向け、準備を開始。</li> </ul>
	環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素</li> <li>● スマートシティ・まちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再生可能エネルギー事業（屋根置き太陽光発電、バイオマス発電、バイオガス発電、小水力発電等）の事業化を検討。</li> </ul>

## ESGへの取組み

Environment
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な脱炭素社会の実現を目指す「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」に加盟。</li> <li>● 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に賛同を表明。</li> </ul>

Social
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人財戦略室の始動（新しい価値をつくる組織・人財づくり）</li> </ul>

Governance
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業績連動型株式報酬制度の導入</li> <li>● 社外取締役の増員</li> <li>● 投資委員会の始動（スクリーニング・モニタリング体制の充実）</li> </ul>